

## 令和5年度第2回資金管理委員会議事録要約

[開催日時] 令和6年3月11日(月)10時00分～12時00分

[開催場所] 兵庫県庁(WEB会議で開催)

[出席者(会長◎)]

- ◎ 甲斐 良隆 京都情報大学院大学教授
- 石川 智久 株式会社日本総合研究所 調査部長/チーフエコノミスト
- 開本 浩矢 大阪大学大学院経済学研究科教授
- 藤原 賢哉 神戸大学大学院経営学研究科教授
- 水上 拓也 地方公共団体金融機構 地方支援部 参事

### 1 資金調達(令和5年度見込及び令和6年度計画)

- 市場環境が変化する中、適切な資金調達ができていると考える。今後の日銀の金融政策も見通しが立て辛い状況が続くため、柔軟性を持たせた対応を続けて欲しい。
- 今後の金利見通しが不透明な中、将来の償還額が年度間で大きく増減することのないよう、適切な発行年限を選択するなど少し考えてもよいのではないかと

### 2 資金運用(令和5年度見込及び令和6年度計画)

- 金利が上昇する中で、預金金利についても金融機関ごとにばらつきが出てきている。金融機関が預金利率を引き上げる背景を考慮した上で、預金先の金融機関に対してのリスク管理を検討し、検討状況を次回以降の委員会で報告すること。
- SDGs債に投資をする場合でも、SDGsに資する投資となる合理的な理由を考慮した上で運用すること。

### 3 分収造林事業のあり方検討について

- 少しでも県民負担を減らしていくことが重要。債務処理をしつつ、兵庫県の林業を現実的な形で再生していく方法を考えてほしい。